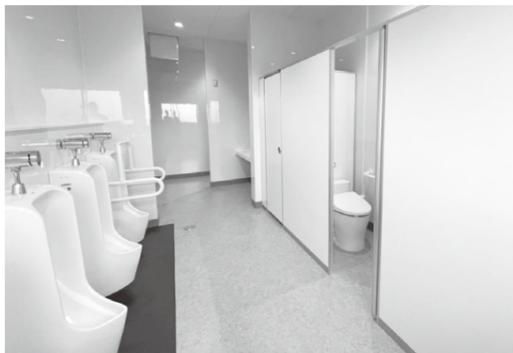


## ともに育てる 子どもから高齢者までともに育み学びあうまち

### ■小・中学校のトイレを改修しました

……………1億8,791万2千円  
小・中学校のトイレの改修工事を継続して行なっています。令和3年度は、柱本小学校、三石小学校、橋本中央中学校のトイレ改修工事を完了しました。

▶ 柱本小学校のトイレ



◀ 橋本中央中学校のトイレ入口のデザインは生徒の皆さんが考えました。

### ■子どもたちがパソコンを使える環境を整えました

……………2,531万3千円  
小・中学校の児童生徒が、1人1台の学習用コンピュータ（タブレット端末）を用いて授業を受けることができる環境を維持するため、光回線の使用料や端末の運用保守委託料などを支出しました。

### ■施設予約システムを導入しました

……………297万円  
市のスポーツ施設や文化施設について、スマートフォンなどから空き状況の確認や利用予約ができるシステムを導入しました。

### ■紀の国わかやま文化祭2021橋本市実行委員会への補助を行いました

……………287万7千円  
「紀の国わかやま文化祭2021」として、和歌山県で初めて国民文化祭および障害者芸術・文化祭を開催し、実行委員会に対して補助を行いました。橋本市では、狂言や着物といった伝統文化に触れるイベントのほか、障がいのある人によるダンスなどのステージ発表が行われました。

▶ 紀の国わかやま文化祭2021の様子



## ともに守る 安全・安心な暮らしを守り支えるまち

### ■新型コロナウイルスワクチン接種を実施しました

……………5億274万8千円  
新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を実施しました。令和3年2月の接種開始から令和3年度末までに実施した接種件数は、集団接種によるものが6,443件、個別接種によるものが119,269件でした。



### ■住宅の耐震化を促進するための補助金を交付しました

……………1,090万6千円  
地震による家屋の倒壊などを防ぐため、耐震診断や耐震補強工事について補助を行いました。令和3年度に補助を行なった住宅の戸数は、42戸となりました。

### ■道路施設の長寿命化など道路維持を実施しました

……………3億2,639万4千円  
道路や橋を安全に長く使えるようにするため、調査・点検を継続して行なっています。令和3年度では、山田川橋の補修工事や河瀬陸橋の新橋製作工事などを完了したほか、細川橋や岩倉大橋の補修工事などを開始しました。



▲新橋を製作した河瀬陸橋（現在、接続道路を建設中）



▲補修工事を行なった山田川橋

### ■災害備蓄品の補充を行いました

……………972万4千円  
災害時に必要な備蓄品として、エアマットや毛布、テント付きマンホールトイレなどを整備しました。また、アレルギー対応のアルファ化米や粉ミルクなどを含む食糧品、生理用品などの消耗品を購入しました。

▶ 災害備蓄用の食糧品



## 収入に見合った適正で健全な財政運営を

本市は、扶助費の増加などにより財政再建団体になる恐れが出てきたことから、平成27年度に財政健全化計画を策定し、財政の健全化に取り組みました。

その結果、一定の成果をあげることができましたが、今後も高齢化の進展や医療費などの社会保障関係経費のさらなる増加が予測される中で、デジタル化に対応した新たな市民サービスの提供や大規模自然災害などに対する備えなど、行政課題は山積しており、計画的な財政運営がより一層求められます。そこで、令和4年度から5カ年を計画期間とした「橋本市中期財政計画」を策定しました。将来の財政収支を明らかにし、橋本市の収入に見合った適正で健全な財政運営に努めます。



### 市債と基金

特定事業の実施や、財源不足のときに使う市の貯金（基金）は、前年度と比較して4億円増加し、43億円（うち財政調整基金等26億円）となりました。

また、公営企業会計を含む市全体の借金（市債）残高は、前年度と比べて26億円減少し、463億円となりました。

